



第2次伊豆市総合計画

2016 >>>> 2025

基本構想・前期基本計画

概要版



自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた

クロスロード
「伊豆半島の新基軸」・伊豆市

～いつまでも住み続けたい 次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～



基本構想

基本構想(10ヶ年)

平成 28 年

平成 32 年

平成 37 年

伊豆市の将来像

めざすまちのテーマ

本市が将来にわたって魅力ある地域として発展していくためには、市民主体の協働によるまちづくりを進めるとともに、まちの活力を最大限に引き出し、市民の皆さんがふるさとへの誇りや希望を持って、元気で幸せに暮らすことができる環境を整えることが重要です。

私たちは、このことを基本とし、市民一人ひとりの本市に寄せる愛情と未来へかける熱い想いや行動力を結集し、他に類のない貴重な地域資源や伊豆縦貫自動車道の南進といったチャンスを生かしながら、伊豆半島の広域的な交流拠点として、「人」と「まち」がいいきぎと光り輝く、住んでよかった、いつまでも住み続けたいと心から思えるような魅力と活力にあふれる「持続可能なまち」を創造するため、次の「めざすまちのテーマ」を掲げます。

自然・歴史・文化が薫る 誇りと活力に満ちた クロスロード 「伊豆半島の新基軸」・伊豆市

～いつまでも住み続けたい 次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～

めざすまちのイメージ

まちづくりの基本方向を明らかにするための「めざすまちのイメージ」を示します。

まちの「色」

風情と風格が漂う
国際的な観光文化環境都市

まちの「形」

ネットワーク型
コンパクトタウン

まちの「力」

地域への愛着や誇りを
基調とした多様な主体による
協働と連携

将来人口設定

将来人口については、「伊豆市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を踏まえ、平成37年度の設定人口を **28,500** 人とします。

まちづくりの重点目標

1 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

誰もが安心していきいきと心豊かに暮らせるまちをめざし、生活利便性が高く、ヒトやモノ、知識、情報が集う賑わいのある拠点の創造に取り組むとともに、交通結節機能の整備や地域の実情に応じた公共交通網・道路網の強化による域内移動の円滑化や拠点相互の機能連携を進める「コンパクトタウン&ネットワーク構想」を推進します。



2 安全で心地よい生活環境の創出

心身の健康づくりへの取組を促進するほか、健康的で生きがいを持って生活できる環境整備や心地よい居住環境の整備を推進するとともに、風情ある景観の形成や公園・緑地の充実など、美しく魅力のあるまちづくりを推進します。また、かけがえのない豊かな自然環境を継承するための保全活動や災害に強いまちづくりを進めます。



3 産業力の強化

総合産業である観光を中心に「稼ぐ力」を強化します。そのためにも、東京五輪の競技開催市としてのブランド力に併せ、豊富な地域資源や特色を生かして個性を磨き、風情と風格が漂う国際的な観光文化環境都市をめざします。また、企業誘致や企業留置による新たな雇用の創出、農林漁業の振興、起業支援等を促進します。



4 まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

地域への愛着や誇りの醸成に努め、それぞれの地域の特性を生かした地域主体のまちづくりを展開し、キラリと光る人と活力にあふれるまちをめざします。また、五輪開催を契機として生み出される有形・無形の資産や持続的な効果など、本市だけが持つ地域の魅力を市内外に発信することにより、知名度や好感度の向上を図ります。



5 少子化対策と次代を担う人材の育成

地域の中で安心して子どもを産み、健やかに育てられる環境づくりを進めるとともに、子どもを持つことをまち全体で応援します。次代を担う本市の子どもたちが、確かな学力や国際的な幅広い視野、豊かな人間性や生きる力を育むことができるよう、家庭・地域・学校が一体となった教育や特色ある学校づくりを進めます。



1 魅力あふれる拠点の創造と交通体系の確保

1 機能的で魅力あるコンパクトタウンの形成

- 1 賑わいと回遊性のある中心市街地づくり
- 2 文教ガーデンシティの創生
- 3 地域振興拠点の整備
- 4 公共施設の最適化と機能強化

● 代表的な主要事業 ●

- 魅力あふれる街かどの創生
- 都市機能の充実と移動円滑化
- 魅力ある新中学校の建設
- 周辺環境と調和した市街地の整備
- 地域振興拠点の整備
- 天城北道路インターチェンジ周辺整備
- 公共施設の最適化
- 市民生活と産業活動を支える幹線道路の整備促進
- 効率的かつ持続可能な公共交通体系の構築

2 まちの骨格となる総合的な交通環境の創出

- 1 交流を支える道路ネットワークの整備
- 2 持続可能な公共交通網の実現

【主な指標】

現状値(平成26年度)

目標値(平成32年度)

修善寺駅の乗降者数	修善寺駅の年間乗降者数	178 万人	▶▶▶	200 万人
地域振興拠点数	地域振興拠点の整備エリア数	—	▶▶▶	4 エリア
公共施設の延べ床面積	市が管理する公共施設の延べ床面積	186,543 m ²	▶▶▶	150,000 m ²
道路・公共交通の整備に対する住民満足度	道路や公共交通の整備に不満を持っていない市民の割合	48.1%	▶▶▶	60.0%
自主運行バスの年間乗車人数	自主運行バスの年間乗車人数 (乗降調査における乗車人数×年間運行本数)	363,440 人	▶▶▶	375,000 人

2 安全で心地よい生活環境の創出

1 生涯健康の創造

- 1 健康づくりの推進
- 2 地域医療・救急体制の確保
- 3 支え合う福祉社会の実現

● 代表的な主要事業 ●

- 生活習慣病の発症予防・重症化予防の推進
- 地域医療体制の強化
- 地域包括ケアシステムの推進
- 都市計画の見直し
- 移住・定住の促進
- 森林・里山整備の推進
- 有害鳥獣対策の推進
- 景観形成の推進
- ごみ処理の推進
- 災害に強いまちづくりの推進
- 地域防災体制の強化

2 心地よい環境づくり

- 1 都市計画の見直しと心地よい居住環境の創出
- 2 豊かな自然環境の保全
- 3 魅力ある景観の形成
- 4 安心安全な生活環境の整備
- 5 地域防災・防犯体制の強化

【主な指標】

現状値(平成26年度)

目標値(平成32年度)

お達者度	65 歳から元気で自立して暮らせる期間 (静岡県健康福祉部による算出数値)	男性：17.13 年 女性：20.99 年 (平成24年度)	▶▶▶	男性：17.50 年 女性：21.50 年
高齢者への福祉サービスに対する住民満足度	高齢者への福祉サービスに不満を持っていない市民の割合	73.8%	▶▶▶	85.0%
移住件数	ワンストップ窓口を通じた 5 年間の移住件数	—	▶▶▶	25 件
有害鳥獣の年間捕獲数	市内における有害鳥獣(シカ・イノシシ)の年間捕獲頭数	シカ 554 頭 イノシシ 317 頭	▶▶▶	シカ 700 頭 イノシシ 300 頭
景観重点地区数	景観重点地区として指定した地区数	—	▶▶▶	4 地区
1 人 1 日あたりのごみ排出量	市民1人1日あたりの一般廃棄物排出量	954g	▶▶▶	940g

3

産業力の強化

1 観光交流を中心とした地域産業の振興

- 1 地域資源を活用した戦略的観光事業の推進
- 2 産業力の底上げと人材の育成・確保

2 企業誘致や雇用創出に向けた取組の強化

- 1 市有施設の転用やインターチェンジ周辺等への企業誘致
- 2 農業生産法人の誘致と6次産業化の推進
- 3 就業支援の充実

3 起業支援

- 1 起業支援体制の充実
- 2 空き店舗等の活用

● 代表的な主要事業 ●

- 着地型観光の促進
- 東京五輪開催を見据えた外国人観光客誘致の推進
- 産業競争力の強化
- 地域産業を担う人材の育成・確保
- 企業誘致・留置の推進
- 中核的農業者の育成
- 6次産業化による「食」ブランド化の推進
- U・Iターンの促進
- 新事業創出の支援
- 空き店舗の活用促進

【主な指標】		現状値(平成26年度)	目標値(平成32年度)
観光交流客数	年間の観光交流客数	342万人	450万人
観光客消費額	観光客1人あたりの観光消費額	15,802円	16,800円
企業誘致件数	企業誘致の延べ件数	—	3件
耕作放棄地面積	市内の耕作放棄地面積	205ha	195ha
Iターン就職者数	Iターンによる就職延べ人数	—	20人
新規創業者(起業者)数	新たに起業・創業を開始した事業者の累計数	—	15件

4

まちへの誇りの醸成とブランド力の向上

1 個性的な市民文化・都市文化の創造

- 1 地域づくり協議会制度の推進
- 2 歴史・文化資源の保存、継承、活用
- 3 地域で活躍する人材や活動団体の育成

2 まちの個性づくりと情報発信

- 1 まちのブランド化の推進
- 2 戦略的なシティプロモーション

● 代表的な主要事業 ●

- 安心安全を支える絆づくりの推進
- 歴史的な地域資源の保存と活用
- 地域で活躍する人材の育成
- 地域ブランド化の推進
- 「農」と「食」のブランド力創生
- シティセールスの強化

【主な指標】		現状値(平成26年度)	目標値(平成32年度)
地域づくり協議会数	地域づくり協議会の設立数	2団体	8団体
地域への愛着度	自分の住む地域に愛着を感じる市民の割合	50.1%	65.0%
外国人宿泊客数	年間の外国人宿泊客数	12,700人	112,700人
ふるさと納税の件数及び金額	ふるさと納税による年間の寄付件数及び金額	37件 325万円	5,000件 2億円

5

少子化対策と次代を担う人材の育成

1 子育て支援の充実

- 1 結婚、妊娠・出産、子育ての総合的な支援
- 2 子育て環境の充実

2 教育環境の充実

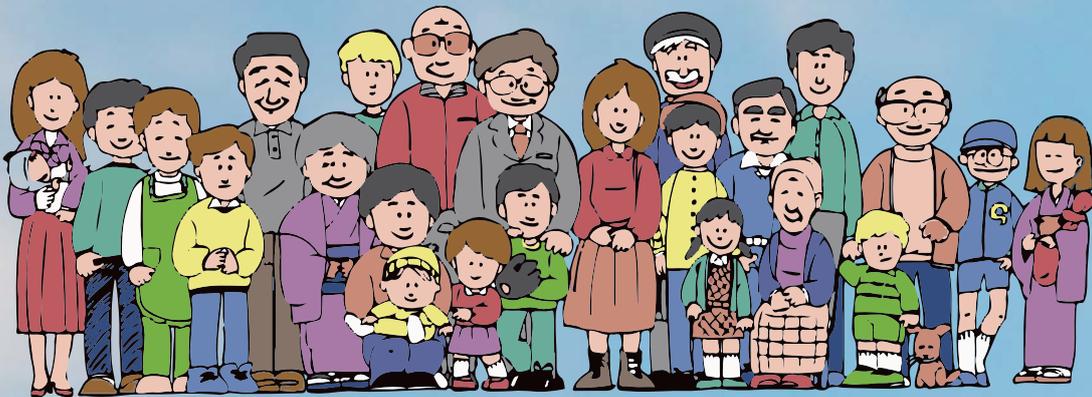
- 1 よりよい教育環境の創出とコミュニティスクールの推進
- 2 小中連携教育の推進
- 3 家庭や地域の教育力向上と連携強化

● 代表的な主要事業 ●

- 妊娠・出産への切れ目のない支援
- 地域全体で子育てを支える環境づくり
- 魅力ある教育環境の実現
- 確かな学力の定着
- 豊かな人間性や健やかな体の育成
- 地域と連携した独自性のあるコミュニティスクールの推進
- 小中連携教育の推進
- 地域全体で子ども達を育てる環境整備

【主な指標】		現状値(平成26年度)	目標値(平成32年度)
合計特殊出生率	1人の女性が生涯に産む子どもの平均数	1.25	1.69
子育て支援サービスの満足度	子育て支援サービスに不満を持っていない市民の割合	66.9%	80.0%
学校教育に関する満足度	学校教育に不満を持っていない市民の割合	69.5%	80.0%
中学1年生の朝食摂取率	朝食を毎日食べる中学1年生の割合	94.7%	100%

～いつまでも住み続けたい 次世代に笑顔をつなぐ礎づくり～



第2次伊豆市総合計画 概要版

発行 平成28年3月

編集 伊豆市 総合政策部 総合戦略課

〒410-2413 静岡県伊豆市小立野 38-2

TEL : 0558-72-9873 FAX : 0558-74-3067

<http://www.city.izu.shizuoka.jp/>